

悪の愉しさ (1954)

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1954/10/05

【解説】

石川達三の同名小説を猪俣勝人が脚色し千葉泰樹が監督。現代社会に絶望したサラリーマンが、異常な精神で悪徳の世界に溺れていく様を描く。

東亜製鋼に勤務する中根は、妻と生まれたばかりの娘と暮らす平凡なサラリーマンだった。しかし裏では密かに他人を操ることに楽しみを見出しており、一緒に競馬に行った同僚から金をくすねたりしていた。中根はかつて事務員の康代と結ばれたことがあったが、彼女が同僚と結婚することを知り、昔の関係をネタに彼女を陥れようとする。しかし康代は中根に手切れ金を渡し事なきを得た。中根は大家の未亡人や同僚の妻を次々にものにしていくな。だが自分の妻がブローカーと接近していることを知り、中根は嫉妬の炎を激しく燃やすのだった。

【クレジット】

監督 千葉泰樹

原作 石川達三

脚本 猪俣勝人

撮影 西川庄衛

出演 森雅之

久我美子

伊藤久哉

杉葉子

日野明子